

『平成18年度施策実施状況調査』

施策名	(施策64) 国際協調・貢献の推進			担当部局名	郵政行政局郵便企画課、国際企画室			
施策の概要	<p>国際郵便サービスにおいて、サービスの円滑な実施を図るためには、国際郵便の取扱いに関する取り決めに、我が国の国際郵便の政策を確実に反映させる必要がある。そのためには、関係国際機関、関係国間との良好な関係のもと、国際郵便に関する関係国際機関や関係国との政策協調を推進することや人的・財政的支援を図ることが課題となっている。国際機関における我が国の政策の反映を強固にするため、そのための具体的な行動として数値的に把握可能な指標及び目標値を設定し、施策の達成状況を把握する一助としている。よって、積極的な会合等への参画とともに、恒常的な職員派遣及び国際機関の経費の積極的な分担を通じ、国際機関の業務を人的、財政的に支援していくことが不可欠である。また、国際郵便分野に関し、二国間・多国間での課題を解決するためには、UPU管理理事会、UPU郵便業務理事会等の国際会議に我が国が積極的に参画し、加盟国と政策協調を図ることによって我が国の政策を的確に反映し、実現することが必要となる。</p>							
主な指標の状況	主な指標等		目標値	目標年度	15年度	16年度	17年度	
	国際郵便関係機関等の会議の出席状況		3回以上	17年度	6回	6回	3回	
	UPU活動への人的貢献		1名派遣	17年度	1名	1名	1名	
	UPU活動への財政的貢献		最高分担等級50単位等級による連合の経費分担	17年度	159百万円 (1,968千スイスフラン)	163百万円 (1,968千スイスフラン)	175百万円 (1,968千スイスフラン)	
施策の主な実施手段の状況	予算執行を主とするもの	事業名	概要		15年度	16年度	17年度	
		UPU活動への財政的貢献	国際郵便分野における国際協調の推進による利用者の利便向上のため、適時適切に必要な予算措置を行う		159百万円	163百万円	175百万円	
	制度の企画・運用を主とするもの	項目	概要					
情報提供等を主とするもの、その他	項目	概要						
(業務改善への取組状況)								
目標達成に向けて成果が上がっており、これまでの取り組みを継続した。								
本施策に関する課題等の状況	今後においても、引き続き、国際郵便分野における国際協調の推進による利用者の利便向上に資するよう取り組む必要がある。					予	制	事
本施策に関する専門家の意見等	会議の出席状況だけでは、指標としては疑問との指摘(総務省政策評価会 中邨章 明治大学政治経済学部教授の意見(平成16年6月4日))を踏まえ、国際会議の場において、国際郵便制度に関して我が国から様々な働きかけを行い、国際会議において採択された結果について「施策の状況等」「目標の達成状況の分析」に活用した。							
本施策に関する主な資料	<p>ア APPU大会議合模様(平成17年5月30日～6月3日開催)</p> <p>イ UPU管理理事会2005年年次会合模様(平成17年10月5日～21日開催)</p> <p>ウ UPU郵便業務理事会2006年年次会合模様(平成18年3月27日～4月7日開催)</p>							